

やまなし自然首都圏構想研究会 二拠点居住推進部会

第2回ワーケーションワーキンググループ概要

1. 日時

令和2年11月25日（水）14:00～16:00

2. 場所

山梨県防災新館401, 402会議室（テレビ会議システム）

3. 出席者

（座長）丸山裕貴

（委員）青柳文人、佐藤優、田中敦、田中佐記子、土屋正和、望月昌也、朝比奈伸次  
（オブザーバー）大川正勝、北辻巧多郎、小林宏至、山口春菜

※五十音順（市町村は建制順）、敬称略

（県）リニア交通局 地域創生・人口対策課長、森林環境部 森林環境総務課長、  
産業労働部 労政雇用課課長補佐、観光文化部 観光資源課長、農政部 担  
い手・農地対策課長、リニア未来創造・推進課長（事務局）

4. 主な意見（ワーケーション推進のターゲットの設定・具体的取組について）

①ワーケーションに関連した社会的動向

- ・ 東京の仕事を山梨で行い、月に1～2回東京に行くバーチャル企業誘致につながる可能性。
- ・ これからは「複業」がキーワード。面白い人たちが集まって来て、新しいビジネスが生まれる可能性がある地域にサテライトオフィスが進出するようになる。
- ・ 世の中の流れが、商品の背景にあるストーリーを求める時代になりつつある中で、山梨は強みが非常に多い。その土地でしか味わえないものがあり、その土地でしか出会えないタレントのある人がそろっている。
- ・ 会社員であっても、個人がフューチャーされる時代になりつつある中で、地域における個人の複業が増加する可能性があり、コワーキングスペースでアイデアを生み出し、それを実践するところまで取組むことができると非常に面白い。

②ワーケーションを実施する個人の動向・ニーズ

- ・ 家族連れのワーケーションは難しい印象。
- ・ 多くの方が、場所ありきではなく、その地域で、何を得られるのかという観点で滞在地を選んでいる。
- ・ 観光とは違い、この場所がいいというよりは、行く目的によって滞在地を選んでいる。この人に会いたいという人との出会いの要素が大きい可能性。

- ・ 意欲ある地域の企業の経営者、移住先において起業や地域活性化等で活躍している人との出会いを求める声が多く、現地の高齢者にゆるく会える機会の創出も強く求められている。
- ・ これからのキーワードは生産。旅先で何かを消費するのではなく、何かを生産して帰る形にすることで、旅先の地域への愛着が持てるストーリーができ、関係人口等につながる可能性。

### ③ワーケーションを実施する企業の動向・ニーズ

- ・ 部署単位で、ワーケーションを理解するために体験する事例が増加。
- ・ ワーケーション制度の導入にあたり、まず実際に体験してみたいという人事担当者からの問い合わせ、本社機能の移転やサテライトオフィスの設置に関する問い合わせが増加。具体的な行動については、次年度以降、コロナの状況、地域の状況も踏まえてしっかり決めたいという声が多い。
- ・ 企業からするとワーケーションのメリットが分かりづらく、目に見えるメリットの提示等が必要。
- ・ 一般的な大企業でも、首都圏にはこれ以上人員を配置できず、今後は各地域にそれぞれのキーを作って、広げていくとの声が多い。
- ・ ワーケーション実施者に対する人事評価制度の整備が大きな課題。
- ・ ワーケーションの4類型のうち、4（オフサイト会議）がサテライトオフィス化につながる可能性。最初のターゲットになりうるのは、すでに工場等の形で県内に拠点を持っている企業。国母工業団地のある甲府の他、韮崎、南アルプスも誘致の可能性がある。

### ④ワーケーションを受け入れる地域の状況

#### 【北杜市】

- ・ ICの付近等混雑する場所も多く、交通面が課題。
- ・ 小淵沢は自然を活かした戦略がうまくいき、非常ににぎわっている様子がある。

#### 【笛吹市】

- ・ 石和温泉では、ワーケーション推進を進めたいが、地域としてワーケーションについての認識が薄い。
- ・ 石和温泉は、観光地・温泉街的な要素と、地元住民が混在している特殊な地域であり、温泉と都市型ワーケーションというコンセプトが有効ではないか。
- ・ 例えば、川沿いの空き店舗等をコワーキングスペースに作り替えて、仕事をしつつ、温泉に入りつつ、農業の体験もしつつという形を、町全体で取り組むという姿勢ができれば、ワーケーション参加希望者の意識を高めることにつながる可能性。
- ・ 宿泊施設一軒一軒で取り組むのではなくて、さまざまな形で町全体が一つの旅館のようなコンセプトで取り組むのがよいのではないか。

#### 【身延町】

- ・ 身延山の宿坊におけるワーケーション実施者からは、非常に集中できて仕事は

かどるという声がある。空きスペースをオンライン会議用に整備する動きもあり、その他のエリアでも同様の取組は可能。

- ・ 宿坊では、心が落ちつく印象があり、ワーケーションは心のケアにも利用できるという声が民間企業の人事担当者からもある。
- ・ 下部温泉におけるアクティビティとして、本栖湖におけるSUP等のレジャーや下部川における釣り等を活用できる可能性。

#### 【その他の地域】

- ・ 数年前から、甲府の中心街が非常に再活性化。東京都内の雑誌に掲載されるようなレベルのさまざまなタレントのある人が生まれている。
- ・ 富士吉田市では、コワーキングスペース（LivingAnywhereCommons）を中心に、まち全体で、コワーキングスペースもある、宿泊施設もあるという面にとらえた取り組みが行われている。
- ・ 長野県の白馬村には、魅力的なコワーキングスペースがあり、スキーもして、地元の人や旅人同士の交流もするという観光と仕事をクロスさせたスタイルがある。このようなことをレバレッジにした観光地の活性化もありうる。
- ・ 温泉地で長期滞在をする場合、日中、宿泊施設の外に出て、温泉街の文化を楽しむこともありうる。
- ・ 通信環境に加え、オンライン会議等に対応したワークスペースがあって、レジャー等の楽しみがあれば、人は自然と集まってくる。

#### ⑤その他

- ・ 企業におけるワーケーション導入のハードルを下げるため、国や学術機関が、ワーケーションのメリットを可視化する必要。
- ・ 友好市町村等を通じたアプローチが一番早い可能性。
- ・ 交通網の充実、観光資源の発信等についても検討が必要。